

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成29年3月2日 (2017.3.2)

【公表番号】特表2016-508528(P2016-508528A)

【公表日】平成28年3月22日 (2016.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-017

【出願番号】特願2015-555172(P2015-555172)

【国際特許分類】

C 0 9 J 201/10 (2006.01)

C 0 9 J 11/08 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 167/00 (2006.01)

C 0 9 J 123/26 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

C 0 9 J 171/00 (2006.01)

C 0 9 J 191/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 201/10

C 0 9 J 11/08

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 167/00

C 0 9 J 123/26

C 0 9 J 175/04

C 0 9 J 133/04

C 0 9 J 171/00

C 0 9 J 191/06

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月26日 (2017.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シラン変性ポリマー、接着剤組成物の重量に基づいて 0.1 重量% ~ 15 重量% の酸官能性ワックス、および接着剤組成物の重量に基づいて 0.05 重量% ~ 8 重量% の塩基官能性ワックスを含むシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。

【請求項 2】

接着剤組成物の重量に基づいて 0.1 重量% ~ 2 重量% の塩基官能性ワックスを含む、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。

【請求項 3】

酸官能性ワックスの塩基官能性ワックスに対する比 ($R_A : R_B$) が、 $\frac{1}{10} : 1$ の範囲である、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。

【請求項 4】

アミノシラン接着促進剤をさらに含む、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。

【請求項 5】

アミノシラン接着促進剤をさらに含み、酸官能性ワックスの酸官能基とアミノシランのアミノ官能基とのモル比 (R) が 1 . 2 以下である、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。

【請求項 6】

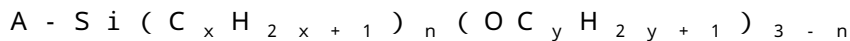
イソシアネート官能基を含まない、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。

【請求項 7】

ロジンエステル、水素化炭化水素、芳香族粘着付与剤またはこれらの混合物から選択される粘着付与剤；アクリルポリマー；および触媒のうちの 1 種または複数をさらに含む、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。

【請求項 8】

シラン変性ポリマーが、それぞれ独立して以下式を有する複数の末端シリル基を含み、シラン変性ポリマーのシリル基が末端官能基化されている、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。



(式中、

A はポリマー主鎖への結合であり；

x は 1 ~ 12 であり；

y は 1 ~ 12 であり；

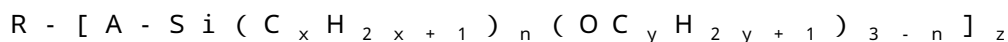
n は 0、1 または 2 である。)

【請求項 9】

シラン変性ポリマーが、ポリウレタン、ポリエーテル、ポリエステル、ポリアクリレートおよびポリオレフィンから成る群より選択される主鎖構造を有する、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。

【請求項 10】

シラン変性ポリマーが以下式を有する、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。



(式中、

R は、ケイ素原子を含まないシラン変性ポリマーの有機主鎖であり、

A はシラン基をポリマー主鎖 R に連結する結合であり、

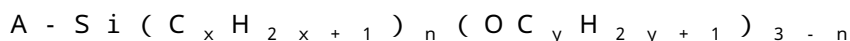
n = 0、1 または 2 であり；

x および y は、独立して 1 ~ 12 の数であり；

z は、少なくとも 1 である。)

【請求項 11】

シラン変性ポリマーが、それぞれ独立して以下式を有する複数のテレケリックシリル基を含む、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。



(式中、

A はポリマー主鎖への結合であり；

x は 1 ~ 12 であり；

y は 1 ~ 12 であり；

n は 0、1 または 2 である。)

【請求項 12】

水および溶剤を含まない、請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物。

【請求項 13】

シラン反応性ホットメルト接着剤組成物を塗布する方法であって、

室温で固体形態の請求項 1 に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物を準備するステップと；

使用時に、シラン反応性ホットメルト接着剤組成物を溶融状態に加熱するステップと；
溶融したシラン反応性ホットメルト接着剤組成物を第１の基材に塗布するステップと；
第２の基材を、第１の基材に塗布された溶融した接着剤組成物と接触させるステップと

；

塗布された溶融した接着剤組成物を固体状態に冷却するステップと；

冷却した接着剤組成物を不可逆的に硬化させるのに十分な条件に、冷却した接着剤組成物をさらして、第１の基材と第２の基材との間に接着を形成するステップとを含む方法。

【請求項１４】

溶融したシラン反応性ホットメルト接着剤組成物を塗布するステップが、スプレー塗布、押出塗工、およびロール塗工から選択される、請求項１３に記載の方法。

【請求項１５】

請求項１に記載のシラン反応性ホットメルト接着剤組成物の硬化反応物を含む製造物品

。